

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月07日

計画の名称	明和町における安心で快適な生活環境の促進（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	明和町												
計画の目標	近年の社会情勢の変化を反映した上で、効率的な下水道整備を実施し、下水道処理普及率を向上させる。また、下水道処理施設からの放流水質の安定を図り、衛生的で快適な生活環境を実現する												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,718	A	3,718	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	明和町公共下水道事業計画(フレックスプラン)に基づき、明和町浄化センターの汚水処理能力を1,100m3/日から1,500m3/日に増設を図る 明和町浄化センターの汚水処理能力（％） = 施設処理能力（m3/日） / 事業計画上の処理能力(1,500m3/日)（m3/日）	73%	100%	100%
2	明和町における公共下水道処理人口普及率を14%から23%に増加させる 明和町における公共下水道処理人口普及率（％） = 公共下水道処理区域内人口（人） / 総人口（人）	14%	19%	23%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	明和町	直接	明和町	-	新設	効率的な事業実施のための基本的な計画策定 1-A1-1	検討資料作成 1式	明和町						40		未策定
	A07-002	下水道	一般	明和町	直接	明和町	終末処理場	改築	明和浄化センター(水質保全) 1-A1-2	400m ³ /日	明和町						178		未策定
	A07-003	下水道	一般	明和町	直接	明和町	管渠(汚水)	新設	明和第1処理分区(未普及) 1-A1-3	面整備A=7.36ha	明和町						315		未策定
	A07-004	下水道	一般	明和町	直接	明和町	管渠(汚水)	新設	明和第1-2処理分区(未普及) 1-A1-4	面整備A=2.08ha	明和町						80		未策定
	A07-005	下水道	一般	明和町	直接	明和町	管渠(汚水)	新設	明和第2処理分区(未普及) 1-A1-5	面整備A=38.46ha	明和町						1,565		未策定
	A07-006	下水道	一般	明和町	直接	明和町	管渠(汚水)	新設	明和第3処理分区(未普及) 1-A1-6	面整備A=18.73ha	明和町						770		未策定

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	明和町	直接	明和町	管渠(汚水)	新設	明和第4処理分区(未普及)1-A1-7	面整備A=18.60ha	明和町						770		未策定
											小計						3,718		
											合計						3,718		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 明和町下水道事業担当課内での評価を実施	事後評価の実施時期 令和3年8月
	公表の方法 ホームページに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・明和浄化センターの処理能力を向上し、適正な汚水処理を行うことで、衛生的で快適な生活環境を実現する目的を達成した。 ・公共下水道処理人口普及率が14%から18%となり、下水道処理普及率が一定数向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
平成27年度から令和元年度(平成31年度)までの5年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行い、定量的指標の達成には至らなかったものの、一定数の成果を得られた。今後も汚水処理の未普及対策を進め、安心して快適な生活環境の促進に取り組んでいく方針である。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	明和町公共下水道事業計画(フレックスプラン)に基づき、明和町浄化センターの汚水処理能力を1,100m3/日から1,500m3/日に増設を図る	
	最終目標値	100%
2	明和町における公共下水道処理普及率を14%から23%に増加させる	
	最終目標値	23%
	下水道工事の実施にあたり道路管理者や鉄道管理者との協議に時間を要したため。	
	最終実績値	18%